



日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)  
《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男  
一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号  
TEL : 03-3519-5181 FAX : 03-3597-5171  
メール : jaera-homepage@elv.or.jp H P : http://www.elv.or.jp/

2016年度定期社員総会 開催報告

## ELV機構役員改正、酒井新体制発足



6月9日、鉄鋼会館(東京都中央区)にて、ELV機構の「2016年度 定期社員総会」が開催され、総勢約140名の参加がありました。本総会を以て酒井康雄(京葉自動車工業株式会社/千葉県四街道市)を代表理事とする新体制が発足しました。

### 第1部 定期社員総会 (13:00~14:00)

- 社員の過半数の出席により、本総会は適法に成立しました。
- すべての議案(1号議案 第11期事業報告、2号議案 定款変更、3号議案 第12期事業計画案、4号議案 理事・監事選任)は、社員による多数の拍手により、承認可決されました。

### 第2部 会員交流会 (14:15~15:45) 詳細はP3参照

- 会員の皆様からさまざまなご質問・ご意見をいただきました。

### 第3部 懇親会 (16:00~18:00)

- 経済産業省、自動車リサイクル促進センター、日本自動車工業会、自動車再資源化協力機構など、多くのご来賓の皆様にご出席いただきました。

## 目次

巻頭言	1
定期社員総会報告	1
熊本・大分義援金報告	5
経産省・自再協情報提供	5
ブロック長会議報告	6
カリキュラムWG報告	6
トラック・バス部会情報	6
会員個社の取組紹介	6
鉄スクラップ最新情報	7
行事予定・お知らせ	8
編集後記	8

## 巻頭言

宮城県組合では、8月に適正処理推進と不適正処理撲滅を目的とした講習会を開催いたします。また、開催前の6月下旬から7月までに解体業許可を有する会員を訪問し、適正処理に関する確認訪問をはじめました。先日伺ったある会社では多くの工夫が見られました。エアバッグ類の通電作業を確認していたら、一連の作業の中で周囲に伝え、安全確認を行う時に「エアバッグ展開します」直後に「はい」「はい」「はい」の大声。作業者は声を掛け、周りの人々から返事が返ってきてから作業をしていました。厳しい経営環境の中、社員教育を通して費用を掛けずにできる、相手を想う行動や挨拶などを学んだ時間でした。

(広報部会 平地 健)

### 常 任 役 員

役 職	氏 名	所属ブロック	会 社
代表理事	酒井 康雄	関東ブロック	京葉自動車工業株式会社 (千葉県四街道市)
副代表理事	石上 剛	北海道ブロック	石上車輛株式会社 (北海道札幌市)
副代表理事	永田 則男	東北ブロック	株式会社永田プロダクツ (山形県酒田市)
副代表理事	木内 雅之	関東ブロック	アール・ループ株式会社 (千葉県柏市)
副代表理事	埜村 岳史	近畿ブロック	埜村自動車商事株式会社 (大阪府大阪市)
ブロック長会議長	平地 健	東北ブロック	有限会社平地商会 (宮城県仙台市)

### ブ ロ ッ ク 長

役 職	氏 名	会 社	備 考
北海道ブロック長	石上 剛	上記名簿と同様	副代表理事と兼務
東北ブロック長	平地 健	上記名簿と同様	ブロック長会議長と兼務
関東ブロック長	三枝 透	株式会社栃木パーツ (栃木県佐野市)	
中部・北陸ブロック長	岡野 功	有限会社岡野自動車商会 (三重県度会郡)	
近畿ブロック長	高野 和憲	株式会社関西リビルトパーツ (大阪府東大阪市)	
中国・四国ブロック長	岸本 恭秀	株式会社桃太郎部品 (岡山県岡山市)	
九州ブロック	伊地知志郎	株式会社オートパーツ伊地知 (鹿児島県鹿児島市)	
沖縄ブロック	松田 和生	MR車体工業 (沖縄県うるま市)	

本部役員を代表して、このたび代表理事に就任した酒井より、会員の皆様へご挨拶をさせていただきます。

このたび、6月9日の総会において、代表理事を仰せつかりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

初めに少し自己紹介させていただきますと、私は千葉県四街道市で事業をしております。取り扱いはほとんどが乗用車です。年齢は今年59歳で、河村前代表理事からは5時を過ぎると人格が変わる宴会部長と言われていました。多分、見た目より柔らかいです。

さて、現在業界は国内経済の長期低迷に加えて、昨年来の中国発の鉄鋼不況によるスクラップ価格の暴落により、非常に厳しい状況にあります。このような環境の中、生き残るための一つの方法が、たとえば鳥や魚のような群れになることではないでしょうか。個々の力は小さくても、群れになって動くことで大きな力を生むことができると思います。様々な考え方はありますが、目的に向けて小異を捨て、協調していき生まれた大きな力を個々の利益に反映していく、そのようなELV機構を目指したいと考えています。

皆さんの力を結集して、この困難な状況を乗り越えていきましょう。

一般社団法人日本ELVリサイクル機構  
代表理事 酒井 康雄



当日、会員交流会にて会員の皆様から寄せられたご質問・ご意見を以下のとおり紹介します。  
(※紙面の都合上、一部抜粋とさせていただきます。ご了承ください。)

## 樹脂（ポリプロピレン：PP）のリサイクルについて

質問1 ELV機構が窓口となって、PPのリサイクルに取り組んでいただけないでしょうか。全国的に買取業者がいっぱいいるようなので、ELV機構が窓口として商社を挟まない形で各地域の買取業者の情報などを会員に流してもらいたいと思います。ぜひご検討をお願いします。

回答1 現在、国の審議会を受けた検討会が動いており、その委員としてELV機構役員も参加していますが、そういった場でも樹脂のリサイクルに関しては、さかんに議論がされています。ELV機構もぜひ取り組みたいと考えておりますが、自動車メーカーさんなど今かなり動きがありそうなタイミングなので、どういう方向性で動くのが我々の業界にとって一番いいのか、もう少し情報を集めて見極めたいと思っております。ぜひ我々にとって一番メリットのある方法を考えて取り組んでいきたいと思っております。

## 「貴金属類の共同出荷事業」における対象品目について

質問2 共同出荷事業については、スピードメーターとエアコンパネルの基板が高品質であると聞いておりますので、これらの品目も今後取り入れてほしいと思います。

回答2 今回情報をいただきましたので、「貴金属類の共同出荷事業」において現状取引させていただいている精錬業者さんに情報を確認をしたうえで、品目を追加できるかどうかといったところを判断したいと思います。  
また、今回情報をいただいた品目ではありませんが、コンピューター基板に関しては、「箱から出すのが大変だ」「ニブラで解体しているから箱がつぶれてしまってバラしにくい」といった意見やエンジンコンピューター・エアバッグコンピューター以外にもさまざまな電子機器が増えているという情報があり、それらを考慮して「ケースごとの回収スキームができないか」「現在の対象品目のコンピューターだけではなく、他のコントロール部品の基板を回収品目にするのができないか」といったところを資源循環委員会を中心に検討させていただきたいと思っております。

## オークションの問題および一時抹消の追跡調査要望について

質問3 他人名義の車が当たり前のようにオークション会場で売買されているのは世間一般の常識からみておかしいと思いますし、それは堂々と改善要望できることだと思いますので、そのへんをELV機構として「他人名義の車はオークション会場で売買しないように」という要望をしてはどうでしょうか。  
もう1点、一時抹消のまま輸出や解体をしてしまうところがあるので、ぜひELV機構から追跡調査をしてもらうようお願いしていただきたいと思います。

回答3 まず初めにご指摘いただいたオークション関連の問題について、ELV機構は、日本オートオークション協議会（以下、「NAK」）という組織と定期的な情報交換会の場をもっております。これは経済産業省の主導でスタートしたものなのですが、その議論の中で他人名義の車の流通の問題についても提案できるのではないかと思います。ぜひ次回のNAKとの意見交換会で提案させていただければと思います。  
もう1点、長期一時抹消状態の車の追跡調査については、経済産業省・環境省と我々ELV機構はいろいろな会議の場でお話しさせていただくことがあり、何度もその件を要望しておりますが、そこは国土交通省の管轄の部分なのでなかなか行政の縦割りという壁が破れない状態が続いております。しかし、我々も絶対に調査してほしいと再三要望しているところですので、継続して要望していきたいと思っております。

当日の様子を写真に収めましたので、以下フォトギャラリーとしてお楽しみください。また、これらの写真はFacebookにアルバムとして掲載しています。（写真：<https://www.facebook.com/JAERA.office/posts/1031639643581662>）



# 熊本・大分地震義援金のご報告と御礼

平成28年(2016年)熊本地震により被災された多くの方々に対し、謹んでお見舞い申し上げます。地震の収束と皆様の安全を心からお祈りいたします。

ELV機構本部では、4月21日より「熊本・大分地震義援金」の募集活動を行ってまいりましたが、このたび最終的なとりまとめが完了いたしましたので、以下のとおりご報告させていただきます。たくさんの心温かいご支援、誠にありがとうございました。(※ご協力企業・団体様一覧は[こちら](#)をご確認ください)

## 募集期間

- 一次募集：2016年4月21日～28日
- 二次募集：2016年5月 1日～31日

## 義援金総額

3,586,464円  
【内訳】 ■一次募集：2,340,000円  
■二次募集：1,246,464円

## 送付先

「ELV熊本協同組合」の指定口座 および「大分県ELV商業組合」の指定口座

※九州ブロックにて策定した「被害状況ガイドライン」(被害レベルを5段階に設定)をもとに上記2団体の団体長が団体内の会員へヒアリングを実施し、その被害レベルに応じて各会員事業所への義援金の配分額を決定。その決定を受け、ELV機構本部より上記2団体へ義援金を送付。その後各団体長から団体内の会員事業所へ義援金を受け渡す。

経済産業省からの情報提供

## 廃発炎筒混入で火災発生

発炎筒を排出される  
事業者様向け

### 廃発炎筒回収システムのご案内

回収対象製品 (計6種類) 注意：未使用のものに限ります。



日本カーリット株式会社 製品



国際化工株式会社 製品

※ 廃発炎筒回収システムの内容は[こちら](#)をご確認ください

経済産業省より、破碎工程で廃発炎筒混入による火災が発生したとの情報提供がありました。

プレシュレッダー機内で廃発炎筒による火災が発生し、調査したところ、自動車プレス1個に発炎筒が約10本混入されていたとのことでした。幸いにも人災・設備被害は出ていないようですが、解体業者の皆様におかれましては、今一度現場において廃発炎筒が適切に処理されているか再確認いただくとともに、必要に応じて日本保安炎筒工業会の廃発炎筒回収システムをご活用くださいますようお願いいたします。

今後もこのような事例が散見されるようであれば、廃発炎筒を事前回収物品として回収を義務づける可能性もあるとのことでした。

自動車再資源化協力機構からの情報提供

## 無通知での現地監査スタート

《安全作業の一例》

- ① ドアを開め、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止
- ② 通電時の距離(5m以上)を確保するとともに遮蔽物を設置。  
作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。
- ③ 通電時のヘルメット着用
- ④ 通電時の周囲への声かけ  
車台の周囲に人がいないことを確認してください。



※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください。

※ 無通知監査に関する詳細は[こちら](#)をご確認ください

自動車再資源化協力機構(以下「自再協」)より、エアバッグ類車上作動処理業務における無通知での現地監査が開始される旨、連絡がありました。

会員の皆様におかれましては、通常どおり、適正処理の徹底をお願いいたします。

この監査は、エアバッグ類不適正処理の撲滅・安全対策の実施状況等の確認を目的として、自再協と自再協が委託した監査人(株式会社矢野経済研究所)によって実施されるもので、一部、国機関による立入検査も実施されますので、円滑な受け入れ・進行にご協力くださいとのことでした。

# 第1回ブロック長会議を開催

ブロック長が集まって今年度の活動について検討



6月8日、ELV機構会議室（東京都港区）にて、「第1回ブロック長会議」が開催され、ブロック長、執行部役員を含めて14名が参加しました。

会議では、2016年度ブロック長会活動、ブロック・地域団体の活動目標などに関する検討が行われました。また、本部とブロック間の情報発信・共有を目的としたFacebookの利用なども提案されました。

# カリキュラムWG、活発に活動

スカイプの積極利用で効率的な会議開催が可能に



自動車リサイクル士のカリキュラム内容等の検討を担当している「カリキュラムWG」がスカイプ（ビデオ通話ツール）を積極的に活用し、本年度に入って7回会議を開催するなど、活発な活動を行っています。WGメンバーからは、「自分の事業所にいながら会議ができるので、東京までの移動時間などロスが減り、効率的な活動が可能になった」との声もありました。

# トラック・バス部会からの情報

車工会の商用車架装物リサイクルへの対応を紹介

■ 事業者団体等による取組

[1] 概要 (2015年12月現在)	
環境・新環境基準適合ラベル 環境ラベル等の特色	使用済み架装物の解体作業の容易化を図り、再生資源の利用や適正な処理を促進する“環境にやさしい車体”であることを証明するラベルです。商用車架装物に関する自主取り組みとして2004年4月から4項目を定め、その内容を満たす商用車架装物には、「環境基準適合ラベル（通称：ホワイルラベル）」を貼り付けています。さらに2011年4月からは“より環境にやさしい架装物”をめざし、新たな3要件を追加した「新環境基準適合ラベル（通称：ゴールドラベル）」を追加設定しています。
情報の提供手法	<input checked="" type="checkbox"/> マーク等表示 <input type="checkbox"/> 環境負荷データ表示／提供
環境影響の考慮の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 様々な環境影響を全体的に考慮 <input type="checkbox"/> その他の環境ラベル等した環境ラベル等



トラック・バス部会から、日本自動車車体工業会（以下、「車工会」）の取り組みを紹介します。

商用車架装物は自動車リサイクル法の対象にはなっていませんが、車工会は環境自主取組として架装物のリサイクル・適正処理の推進に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、「環境基準適合ラベル」の貼付があります。このラベルは、使用済み架装物の解体作業の容易化を図り、再生資源の利用や適正な処理を促進する“環境にやさしい車体”であることを証明するもので、貼付基準を満たす商用車架装物にを貼り付けています。

環境省の「環境ラベル等データベース」にも登録されていますので、詳細は[こちら](#)をご参照ください。

# 【会員個社の取組紹介】攻めのIT経営中小企業百選 シーパーツ、経産省から表彰



攻めのIT経営中小企業百選の表彰盾

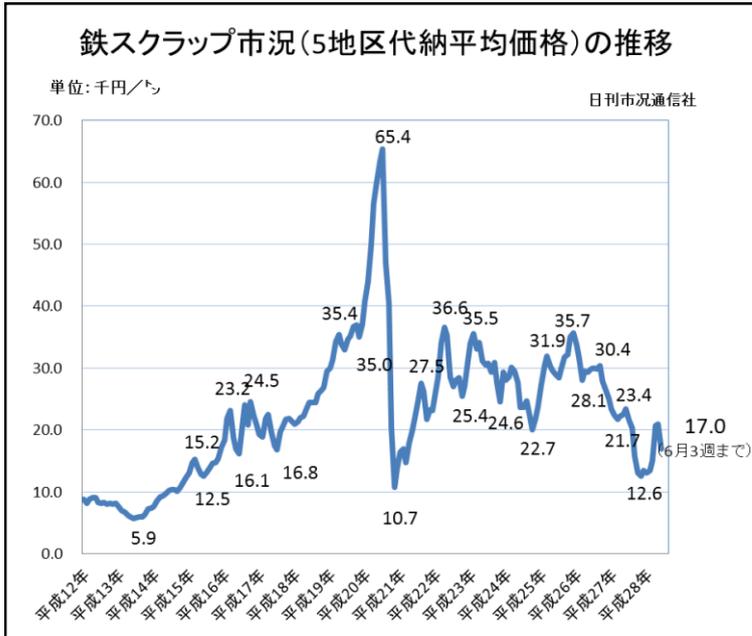
ELV機構会員の「株式会社シーパーツ」（山口県）が経済産業省の実施する「攻めのIT経営中小企業百選」において、ITの効果的な活用に積極的に取り組んで成果を上げている中小企業として選定されました。

同社は、TAPRASという車輛の仕入れから販売までを一括管理する自社開発ソフトを活用し、自動車リサイクル工場の再資源化プロセスを確立、これがグローバルな循環型社会の構築に貢献したとして評価されました。詳細は[こちら](#)をご参照ください。

# 鉄スクラップ最新情報

## ■ 6月第4週(24日)の鉄スクラップ動向 ■

[提供: 日刊市況通信社]



6月24日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	18,500 ~ 20,000	軟調横ばい
	南関東	18,500 ~ 20,000	軟調横ばい
名古屋		18,500 ~ 19,500	軟調横ばい
関西	大阪	18,500 ~ 19,500	軟調横ばい
	姫路	19,500 ~ 20,500	軟調横ばい

### 韓国向け鉄スクラップ輸出、成約価格伸びず横ばい

6月第4週の鉄スクラップの輸出契約市場で、韓国・現代製鉄は6月23日午後日本産H2に対して1トFOB・19,500円、HSに同21,500円、新断に同22,000円を提示した(8月積み)。前回6月16日からいずれも横ばい。現代製鉄による価格提示は6月に入り3回目で、6月3日にも同値を提示している。

ベトナムや台湾といった需要国からの引き合いが弱いことから、当初は「(今回の商談で)現代製鉄も提示値を下げるのではないかと」(貿易筋)とする見方もあった。しかし、関東浜値がH2で19,000円を維持するなど、国内価格は輸出価格に対して高水準にある。このため日本側のオファー価格は、多くがH2についてFOB・2万円台を維持。これを受けて現代製鉄は提示値を前回並みに据え置いたと見られる。

オファー価格を下回る提示となったため日本側には慎重な姿勢もあるが、一部で成約が進んだもよう。新規の輸出価格が伸びず、国内電炉の減産期が近づいているため相場を先安と見る向きも多い。関東湾岸ではH2で19,000円の高値を解消する動きも出ている。

また24日現在、英国国民投票の影響で為替相場が円高に振れている。円高が大幅に進行すれば、欧米玉に対する日本玉の割安感是一段と薄れることになる。

### 【関東地区】海外軟調・夏季減産で軟調観が台頭

関東地区では需給双方に軟調観が台頭し始めている。海外市場・輸出市場が軟調推移となっていることや、国内市場では夏季減産が近づいていることなどから、先安の見方が広がっているためだ。電炉買値や浜値に目立った動きはないものの、すでに電炉買値や浜値の実勢高値の解消が進んでいる。H2炉前実勢価格は1トあたり18,500~19,000円中心、高値20,000円見当。H2浜値は19,000円中心、荷受のみの筋で18,500円どころ。

### 【東海地区】メーカー入荷にバラつき、軟調感は払拭されず

名古屋地区では、鉄スクラップの全般的な発生減から業者ヤードの入荷は低調で、電炉については日によって入荷にバラつきが見られる。ただ、先行きの不透明感から業者は集荷即出荷の姿勢を取り、電炉筋は既に6月に入り2回の購入価格抑制値下げを実施するなど、市況環境は依然として軟調感が払拭されない。6月第3週に域内電炉の購入価格の値下げが一巡した後、H2炉前実勢価格は18,500~19,500円に後退した。

### 【関西地区】方向性が見えにくい展開で様子見横ばい

大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見横ばいで推移している。アジア向け輸出商談は停滞ムードが拭えず、依然として弱気要因が点在。こうした中、域内電炉の入荷は引き続き使用量前後と荷動きに勢いを欠いたままで、方向感の見えにくい展開が続いている。H2炉前実勢価格は18,500~19,000円(一部上値19,500円)。姫路地区も様子見商状が続いている。同地区のH2炉前実勢価格は19,500~20,500円。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、6月24日午前時点のもの)

# 行事予定

## 7月の主な予定

7月1日(金)

- 自動車リサイクル士制度  
第8回 カリキュラムWG

7月4日(月)

- 日本自動車整備振興会  
連合会への訪問

7月5日(火)

- 日本中古自動車販売協会  
連合会への訪問

7月6日(水)

- 第1回 未来政策部会

7月7日(木)

- 低炭素型3R技術・システム  
実証事業等の成果報告会

7月14日(木)

- 近畿ブロック会議

7月15日(金)

- 日本自動車工業会との  
打ち合わせ

7月20日(水)

- 第4回 広報部会

7月22日(金)

- 自動車リサイクル士 新制度  
移行特別認定講習会  
(岡山会場)

- 第6回 情報発信の在り方等  
に関する検討会



## お知らせ

### ◆会員数(2016年6月末日時点)

総数 565社 / 会員 539社、賛助会員 26社

### ◆都道府県別 引取実施状況公開のお知らせ

ELV機構では、「情報発信の在り方等に関する検討会」などの場において、都道府県別引取実績データの公表を自動車リサイクル促進センターへ要望しておりました。この結果、今年度より都道府県別引取実績データ公表が開始されましたので、ご報告いたします。

#### 【データ公開場所】

<http://www.jarc.or.jp/automobile/manage/>

※上記リンク先の「2016年度 都道府県別 引取(電子マニフェスト)実施状況」をご確認ください。

※データの更新は、毎月第3週の火曜日午前中を予定しているとのことです。



#### ELV機構 Facebook

日々の活動の様子をタイムリーに、写真つきで確認することができます。(以下のURLをクリック!)

<https://www.facebook.com/JAERA.office/>

## 編集後記

定期社員総会も滞りなく終え、日本ELVリサイクル機構は、酒井康雄新代表理事のもとで新しい船出を迎えることとなりました。とはいえ、決して順風満帆の船出とはいえません。むしろ風は逆風、しかも強風が吹き荒れています。非常に難しい舵取りとなることでしょう。我々スタッフ一同も酒井新代表理事をバックアップしながらこの難局を乗り切っていく覚悟です。▼機構本部の道路向かいにある「やるき茶屋」という居酒屋が6月24日をもって閉店しました。実はこの「やるき茶屋」、我々、広報部会の中では何かと大事な場所でありました。編集会議が終わると一目散、徒歩一分で移動し、ビール片手に再び皆で議論を始めたものです。また、店員の皆さんもとても気持ちが良い人ばかりで居心地がすこぶる良かった。機構本部に来られた方も、きっと一度は足を運んだことがあることと思います。閉店の数日前、我々はそこで最後の晩餐を楽しみ、店員さん達と別れを惜しみました。しかしこれも時代の移り変わりです。どこの業界も大きな変化が訪れていることには間違いなさそうです。

(広報部会 部会長 永田 則男)